

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）
留学（中間・結果）報告書



2018年8月から2019年6月まで、私はアメリカ合衆国に1年間留学をしました。留学先であるワシントン州へ行く前に、5日間だけアメリカ合衆国南部に位置するニューメキシコ州に滞在し、日本出国から5日後に私はシアトル空港で初めてホストファミリーと対面しました。留學生活が始まる前は不安と緊張でいっぱいでしたが、ホストファミリーは私を本当の家族のように暖かく受け入れてくれました。家に着いて私が日本から持ってきたお土産を紹介するととても喜んでくれて、嬉しかったことを覚えています。特に、おもしろ消しゴムやかっぱえびせん、ハイチュウなどが好評でした。私が「ほうとう」を作ると、美味しいと言ってくれました。ワシントン州はアメリカ合衆国北部の西海岸に位置し、ステイ先は豊かな自然に囲まれ、シカや野ウサギなどの野生動物が多く見られました。私の通う学校は新学期の始まる時期が遅かったため、夏休みの間ホストファミリーは私をハイキングに連れて行ってくれたり、海や滝を見に行ったりしました。近所の人たちもとても優しく、同じ学校に通う子が家に遊びに来てくれて授業選択のアドバイスをもらったり、一緒にサイクリングに行ったり、早速友達を作ることができました。



山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

9月5日に学校生活が始まりました。私の通っていたクラホウヤ・セカンダリースクールという学校は中高一貫校だったので、私は毎朝12歳のホストシスターと一緒に学校に通いました。日本の学校とは違いアメリカの学校ではホームルームが無かったため、私は初日から迷子になり、どうすれば良いのかわからなくなってしまいました。それでも近くにいた先生や友達に質問をすると、優しく丁寧に応えてくれました。

私の学校は毎日同じスケジュールで一日6クラスありました。驚いたことは、同じ学年だけでなく、他学年の生徒とも一緒に授業を受けるということです。日本の学校では一つ学年が違うだけで先輩後輩の枠にとらわれてしまい、学年の壁を感じます。けれどもアメリカの学校では学年関係なく交友関係があることに、初めは少し違和感を感じてしまいました。これが文化の違いだと気づきました。また、先生と生徒の仲がとても良く、質問や発言はとても多いです。生徒達は積極的に授業に参加するので、どのクラスもととても充実しています。特に実践科目は友達との会話が増えるため、交流が深まる良い機会になりました。



1年間の学校生活では日本の学校にはない、フットボール観戦やダンスパーティーなどのイベントに参加することができました。特に印象に残っているのは、10月に行われたホームカミングです。友達と一緒に食事をし、ドレスアップをして学校で開かれるダンスパーティーに行きました。ダンスの好きな私にとって、とても楽しい思い出になりました。

山梨県若者海外留学体験人材育成事業 (高校生コース) 留学結果報告書

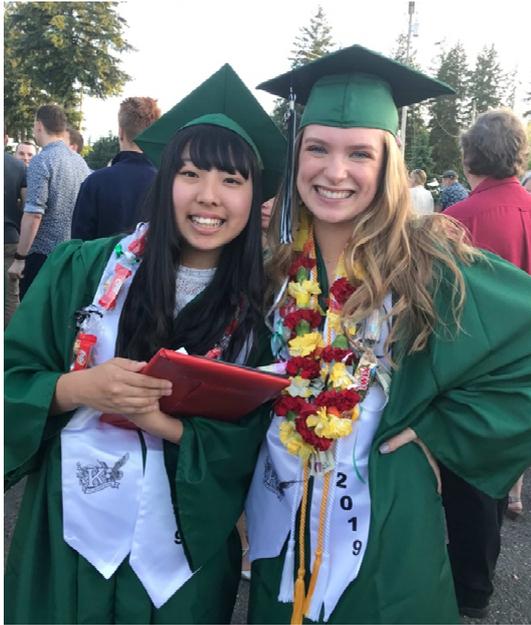


冬のシーズンでは、学校のボーリングチームに参加しました。毎日放課後になると、ともだちと共に50レーンもある大きなボーリング場へ行き、ボーリングの練習をしました。私の学校のチームはとても強かったのですが、初心者の私でも快く受け入れてくれて楽しみながら練習や試合に参加することができました。この経験により、さらに友達との交流の輪が広がりました。



6月13日、私は学校のイメージカラーである緑色の衣装を着て、最高学年として1年間通ったクラホウヤ・セカンダリースクールを卒業しました。この日が学校の友達に会える最後の日だったので、卒業プレゼントをもらったり、お別れをしたりしました。友達や先生と会えなくなることは悲しかったのですが、「また会おう」と言われたときはとても嬉しかったです。

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書



留学では、学校生活だけでなく、休日やホストファミリーと過ごす時間も充実していました。ハロウィン当日の夜は近所の家を周ってトリック・オア・トリーティングをしたり、クリスマスシーズンにはツリー畑へ行き本物のクリスマスツリーを見に行ったりしました。ハロウィンやクリスマスシーズンになるとお店や家全体を装飾し、街全体で盛り上がっていたことが印象的でした。サンクスギビングデーでは、私のホストファミリーはご馳走を用意してくれました。いつも以上に家族や友達に感謝の気持ちを表すことができ、素敵な文化だなと感じました。そして、家族との時間をとても大切にする文化だと気付きました。



私の友達をよく、「アメリカ人は態度が悪いけれど、日本人は礼儀正しくて美しい文化だ。」と言っていました。しかしアメリカ人はとても社交的で家族を大切にする文化のある素晴らしい国です。私は、実際に生活してみないと文化の違いを感じることは難しく、そして良い文化は

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

自分たちも見習わなければならないということを学びました。この異文化体験を通して学んだことを今後活かせるように頑張ります。そして仲良くしてくれた友達やホストファミリーとの交流をこれからも大切にしていこうと思います。